# <参考資料>

# 1 様式集

```
(Ver. 050320 一部改正)
(Ver. 050601 一部改正)
(Ver. 051001 一部改正)
```

赤字:改定あり

## 様 式 集 目 次

No.0004:建設業退職金共済証紙購入状況報告書 ······	2
No.0004-2:建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表· ······	4
No.0004-3:建設業退職金共済証紙購入状況報告書(地域保全型工事用) ······	5
No.0004-4:建設業退職金共済退職金ポイント購入状況報告書(地域保全型工事用) · · ·	7
No.0101: 再生資源利用計画書 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	9
	10
1,0,0,10,10,10,10,10,10	11
No.0105:電子納品に係わるチェックシート ····· ]	12
	18
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	19
	20
	21
2. 2. 2. 2. 10 24 24 00 UE-E	22
	23
	24
	25
	26
	27
	28
	29
	30
No.2102: 再生資源利用促進実施書 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	31
	32
	33
	35
No.2106: コンクリート品質管理図表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
No.2112: Made in 新潟活用評価シート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
No.3001:500 万円以下工事の総活報告表 · · · · · · · 3	39

(証紙貼り付け方式の場合)

<b>式第 033 号</b>	
発注者 殿	
工 事 番 号 お よ び 工 事 名	
建設キャリアアップシステム現場 ID 総工事費	円
受注者(元請)	
住 所	
名	
共済契約者番号	
建設キャリアアップシステム事業者ID	
共済証紙購入金額	円 ;
掛金収納書提出用台紙	
様 式 (取扱店→契約者) 掛金収約書 (契約者が発注者へ)	<b>子</b>
この収納書は、建設業者が契約者 世 英 済 と	
工事名を記入し、発注者(官公庁等)	納納
なお、提出の必要のない場合は、 (法人または事業主名) 斜線を引いて下さい。	豊は
証 1日券 校1 枚当たりの 円 金 額 販 売 価 額	台
枚 10日券 枚 1 枚当たりの 円 全 額 販 売 価 額	がに
维立行政 法人勤労者退職金共済機構 建 設 業 退 職 金 共 済 事 業 本 部 印	りい
発 注 者 名 元清契約の工事番号および工事名	付
	ける
	/   3
※ 公共工事を請け負った場合には、発注官庁等から掛金収納書	
の提出を求められる場合がありますので、大切に管理・保管 取扱金融機関名・日付 願います。	Ap
当該工事における共済証紙購入の考え方(該当する□に✔をチェックして下さい)	
1. 発注者の指示のとおり	
2. 対象労働者数と当該労働者の就労日数を的確に把握している場合	
ДВ <b>х</b> М = М	
3. 対象労働者数と当該労働者の就労日数の把握が困難な場合	
<b>施工事费 牌入率 ※加入率</b>	
(F) × 1,000 × 70 % = F	
※対象工事における労働者の建退共制度加入率 4. その他	
購入額の根拠を記入	

#### (参考)

#### 建設キャリアアップシステム登録情報

共済契約者である元請負人の建設キャリアアップシステム事業者登録の有無 ( 有・無 ) 本工事について、現場・契約情報の建設キャリアアップシステムへの登録の有無 ( 有 ・ 無 ) 本工事について、カードリーダーの設置等、就業履歴が蓄積可能な環境の有無 (有・無)

~ 2 ~

#### (電子申請方式の場合)

## 掛金収納書(電子申請方式)

(共済契約者が発注者へ)

+ 注加处本基目						
共済契約者番号		$\Box$	ш			
共済契約者名 (法人または事業主氏 名)						
JVの場合は 共同企業体名						
				A 1		
(#3	問い合わせの	D際は、		金収納書番 #号と共済契	号 『約者名をお知らせください。)	
Jan 44 Ar. D. C.						
収納年月日						
				金ポイント購		
単価		購入	日数		購入額	
310円 (中小企業用)				日	F	7
310円 (大手企業用)				B	F	7
合計				日	F	7
工事情報					,	
工事の区分				ĝ	能注者名	
公共民間						
その他			元	請契約のエ	事番号および工事名	
	総工事費				Ħ	
			当該	工事の退職	金ポイント購入の考え方	
この掛金収納書は トの購入を証する書 <u>税務処理には使用</u> また、公共工事を記	です。 できません。				独立行政法人勤労者退職金共済機 建設業退職金共済事業本部 <sup>電子印</sup>	槎鑑
からこの掛金収納を りますので、大切に	書の提出を求	えめられ	る場合			
( <b>参考</b> ) 建設キャリア				绿情報		
本工事を施工す				*** 111 TK		
建設キャリアア	ップシステム	への登		有無	(有) (無)	
H	の建設キャル テム事業者					
			- 45-	H 411 24 43 4	/ <del>=</del>	
	<u>C、N頭貝へ</u> )建設キャリ ステム現場II	7	_ ne_1	- 冲削豆球()	)有無 (有) (無)	
			設置等	等、就業履歴	とが蓄積可能な環境の有無(有) (無)	

## No. 0004-2:建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表

## 建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表

	年	月	E
上越市ガス水道事業管理者 様 受注者			
文任有 住 所			
氏 名			
法人にあっては名称及び	代表者の	氏名	
共済契約者番号			
建設キャリアアップシステム事業者 ID			
工事番号および工事名			
 建設キャリアアップシステム現場 ID			
建設ヤヤリアア ツノンステム現場 ID			
工事期間			
上記工事に係る建設業退職金共済制度の掛金充当実績について、以	下のとお	い報 <del>告</del> I	· 丰
す。	1 47 € 05	<i>)</i> TK LI (	<i>-</i>
(1)工事全体			
労働者延べ就労日数			日人
本工事に従事した事業者数(元請を含む)			<u>者</u>
本工事に従事した労働者数			人
(2)建退共対象労働者			
建退共対象労働者延べ就労日数(掛金充当日数)		,	日
₩ <b>田   4 → +</b> *			
採用した方式 □ 電子申請方式 □ 証紙	.貼付方式		
・事業者数(元請を含む)			者
· 対象労働者数			1
• 刈豕ガ惻伯奴			
(参考:工事全体の数を記入すること)			
・建設キャリアアップシステムによる就業履歴数		,	日
・建設キャリアアップシステムの施工体制を登録した事業者数			者
			1
・建設キャリアアップシステムの作業員登録を行った労働者数			人

## No. 0004-3:建設業退職金共済証紙購入状況報告書(地域保全型工事用)

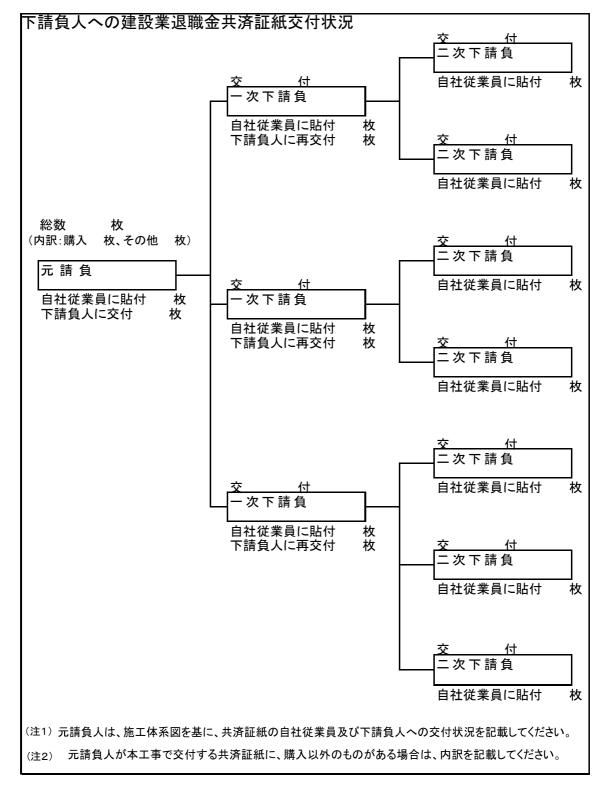
## 様式 4-1

## 建設業退職金共済証紙購入状況報告書(地域保全型工事用)

工事名				契約年月日		年	月	日
工事請負金	<b></b>	金	円	共済証紙購入	金額	金		円
〇元請負力	しが本!	工事に際し	て購入した掛金収	又納書を貼付し	てくだ	さい。		
<b>■</b> 7+1÷L ₩ ¥	ᅡᄼᄺ	上汝弐がのっ	工誌会し、の本仏	生油アーンマーサ		ズ □ ナ. 甘	) - 4 + 十	·4 - 0)=
		や済証紙の てください。	下請負人への交付	状況にごいく、所	立上14ヶ	米凶を基	に、惊巧	. <del>4</del> – 2(C
掛金収納書	書を貼り	付しない理	!曲					
上記のとは	おり共	済証紙を購	入したので報告し	します。		<b>-</b>	П	_
						年	月	日
(発注者)			様					
		(受	を注者)住	所				
			商号又は名					
			代表	者				

#### 様式 4-2

#### 下請負人への建設業退職金共済証紙交付状況



## No. 0004-4: 建設業退職金共済退職金ポイント購入状況報告書(地域保全型工事用)

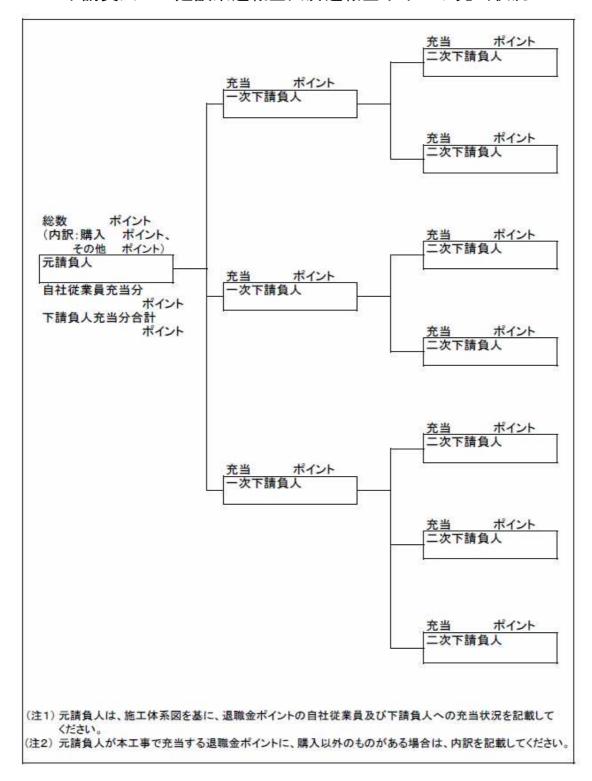
## 様式 5-1

建設業退職金共済退職金ポイント購入状況報告書(地域保全型工事用)

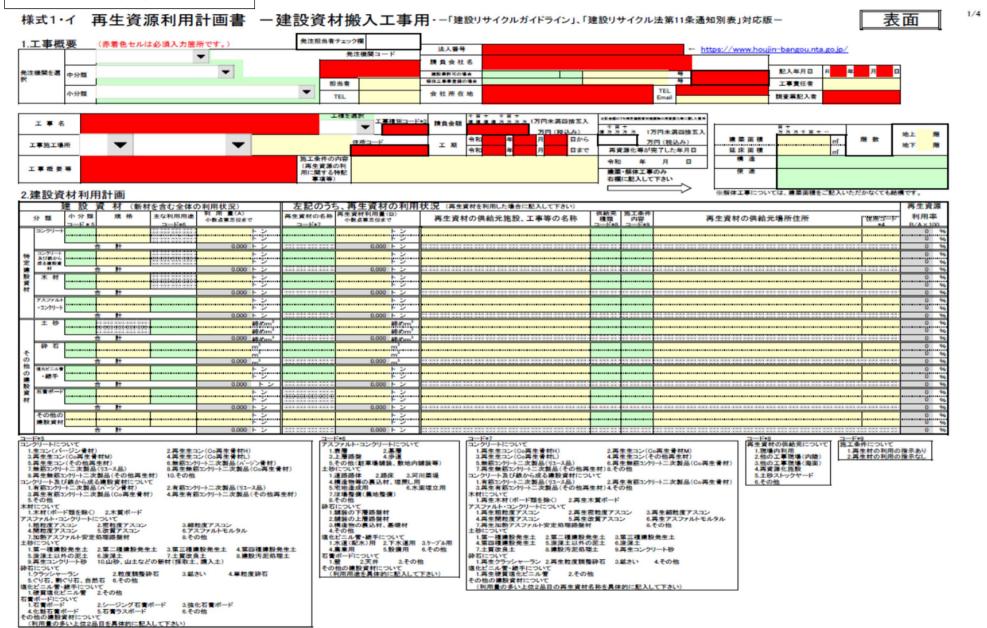
工事名			契	約年月日	年	月	日
工事請負金	額金	円	j	退職金ポイン 購入金額	金		円
● 建設業退	『本工事に際して購え 職金共済退職金ポィ 第一2に記載して添付	イントの下請負	員人へ0			4体系図	を基
掛金収納	書を添付しない理由						
上記のとお	おり退職金ポイントを	購入したので	で報告し	ます。			
					年	月	日
(発注者)		様	ŧ				
		(受注者)	住	所			
			商号又は	名称			
			代表	者			

## 様式 5-2

## 下請負人への建設業退職金共済退職金ポイント充当状況



#### No. 0101: 再生資源利用計画書



## No. 0102: 再生資源利用促進計画書

## 様式2·口 再生資源利用促進計画書 -建設副産物搬出工事用-

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と 新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

#### 2.建設副產物搬出計画

建設器の利		①発生	量			骨内利用・				現 場 外 搬 出 に つ い て									1		
_					現場内科		3	<b>量化</b>	搬出先名称	P		搬出先場所住所				類当先 の種類	④現場外搬出量			促進	
	小搬出時 の性状	(銀削等 =2+3+ +848=4	(4)	用途 3一十 *10	②利用量	うち現場内 改良分 の数点第三0まで	法	③減量化量 ◆表点第三位まで	2ヶ所まで配入できます。3ヶ所以 わたる時は、用紙を換えて下さい		施工条件の 内容 2→**12		住所コード +4	運搬節 + -	雅	2-5" +13	小数点第三位まで	うち現場内 改良分 小教会第三位まで	⑤再生資源 利用促進量	(D+3)+(5) (D	
コン	クリート境	0.000	トン		2	F2	,		搬出先1 搬出先2						km km		トン	トン	دا 0000		
OH. 16	発生本材A 一ドなどお開発的 開きなったもの	0.000	トン		F)	1-2	,		搬出先1 搬出先2						km km		N2   N2   N2   N3   N3   N3   N3   N3		ردا 0000		
72	スファルト・	0.000	h.,		Fン	FD			搬出先1 搬出先2						km km			رحا رحا	0.000 P		
to	他がれき種	0.000				0000 0000 0000 0000 0000 0000			業出先1 業出先2						km km		F2	****	0.000		
_	発生本材の	0.000		1 00000 000					第出先1 第出先1						km .		トン		0.000		
-	設汚泥	0.000	12		トン	N2			搬出先1						km km		P P	くイ	0.000		
	黒くず	0.000	トン	( (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	トン	F2		(A	搬出先2 搬出先1						km km		NO   NO   NO	トン	0.000	, <u> </u>	
$\vdash$	塩化ビニ		トン	**************************************		***			搬出先2 搬出先1						km km		12 12		1-2	,	
楽プ	管・継手	0.000	トン						搬出先2 搬出先1						km km		トントン		0.000		
*-1	進化ビニル 継手を繋ぐ)		トン			****			兼出先2 搬出先1						km	••••••	トン		0.000	,	
奏石	青ポード	0.000	トン			***		***********	搬出先2 搬出先2					•••••	km		152 152		0.000	,	
	紙くず	0.000	トン			**************************************			搬出先2						km km		トン		0.000	,	
49	アスペスト 飛動性)	0.000	トン			**************************************			搬出先1 搬出先2						km km		トシ トシ		0000	,	
	の他の分別 いた農業物	0.000	トン						搬出先1 搬出先2						km km		トン トン		ردا 0000	,	
	世間の典章性 理会事業性	0.000	トン			**** *** *** *** *** *** *** *** ***			搬出先1 搬出先2						km km		シャン	**************************************	درا 00000	,	
	一 種 投発生土	0.000 Htt.L	lim <sup>3</sup>		地山m <sup>a</sup>	地山m		**************************************	搬出先1 搬出先2						km km		地山m <sup>2</sup> 地山m <sup>2</sup>	地山m <sup>3</sup> 地山m <sup>3</sup>	essee 無山m³		
	二種	0.000	lm <sup>3</sup>		地山m <sup>3</sup>	地山m	0000 000000 0000 000000		搬出先1 搬出先2				İ		km km		地山m <sup>2</sup> 地山m <sup>2</sup>	地山m <sup>3</sup> 地山m <sup>3</sup>	0.000 ₩Шm³		
第	三種	0.000					*** **** *** ****		搬出先1 搬出先2						km km		無山m²	#ulim <sup>a</sup>	0.000		
第	四種	0.000	lm"		地山m <sup>2</sup>	地山m			製出先1 製出先1						km		地山m <sup>2</sup> 地山m <sup>2</sup>	地山m <sup>2</sup>	地山m*		
	世界生工				地山m²	地山m	000 0000 000 0000 000 0000		搬出先1						km km		地山m² 地山m²	地山m <sup>2</sup>	地山m <sup>2</sup>		
	支漢土	0.000	lm"		地山m²	地山m	000 0000 000 0000		搬出先2 搬出先1 搬出先2						km km		地山m <sup>2</sup> 地山m <sup>2</sup>	地山m <sup>3</sup>	施山m <sup>3</sup>		
	合計	0.000	lim <sup>3</sup>		地山m <sup>2</sup> 0.000	地山m 0.000			搬出先2	encor negras negras negras peneral negras negras	v occors occors occ			***	km		###m²	他山m <sup>2</sup> 0.000	数山m <sup>3</sup>		
	1.路盤	地山	Lim <sup>3</sup>		地山m <sup>3</sup> コード+11 1.焼却	地山m 2.脱水		ード*12 工条件につい		コード*13 【建設廃棄物の場合				【建設条件			地山m³	地山m³	地山m		
)	3.埋戻し 4.そのf	<b>.村</b>		*1.	1.残却 3.天日乾が 4.その他	255.7	_	1.A指定処分 (発注時に 2.B指定処分 (発注時に		1.売却 2.他の工事環場 3.広域認定制度! 4.中間処理施設(	こよる処理アスファル	<ul> <li>8.廃棄物最終処分場(別 9.廃棄物最終処分場(P トロリント)</li> <li>ト以外の再資源化施設)</li> </ul>		1.売却 2.他のこ 3.他のこ	に事現 に事現 し、廃業	場(内部場(海洋	を) (3 町) 7.探: 終処分場を除く 8.廃:	事予定地・仮置共 専利用の目的が 5場・砂利採取設 業物最終処分場 集物最終処分場	ない場合)   地等復旧事 (優土として(	の受入)	

5.工事予定地・仮置場・ストックヤート 10.土捨場 (再利用の目的がある場合) ※ 6,9,10へ搬団した場合は、有効利用とみなされません。

No. 0104: 品質証明員届

#### 品質証明員通知書

〇〇年 〇月 〇日

主任監督員

○○○○様

現場代理人 ○ ○ ○ ○

令和 ○年 ○月 ○日付けをもって請負契約を締結した ○ ○ ○ ○ 工事の品質証明員を下記のとおり定めたので、資格及び経歴を添えて通知します。

記

品質証明員

生年月日 〇〇年 〇月 〇日

資格 技術士(○○部門)、1級土木施工管理技士 等

#### 経歴

工事名	職名	工期	従事期間 (年月)
計			10 年以上

注1:資格者証の写しを添付すること。

注2:経歴は、10年以上の現場経験が判断できる記載内容とする。

注3:用紙はA4版縦

No. 0105: 電子納品に係わるチェックシート

(電子協議・電子納品運用ガイドライン【工事編】 巻末資料)

電子納品に係わるチェックシート

#### 作業手順

電子納品物の決定から納品までは下記手順を行うこと。

工程	作業内容	チェックシート記載時
1	受注者が協議事項を全て記載し、工事開始前に監督員へ提出・事前協議を行う。	<事前協議前>
2	協議終了後、新潟県CALSシステムを利用して当ファイルを添付した打合せ簿を残す。	<事前協議時>
3	事前協議・協議事項変更時・納品時に受発注者それぞれで随時確認を行う。	<納品時>

※該当する納品物がない場合(電子・無両方)は、項目に取り消し線を設けること。

#### チェックシート記載時期

下記に指定したセル色欄は、記載時までに記載すること。 ※チェックボックス欄口は、確認後回を入れる。

凡例(セル色)	記載時	発注者記載	受注者記載	記入チェック箇所
			11	1 工事名・契約番号・工期
	事前協議前事前協議時			2 受注側参加者
			1	5 ソフト名・ファイル名
			0	6 納品方法・格納フォルダ・記録形式
	争制磁铁机		O.	<ul><li>圧縮率・有効固素数・その他協議事項</li></ul>
			1	7 発注時図面・納品方法・格納フォルダ
			1	- ファイル形式・参考図・その他協議事
			J. III	11 その他必要事項等
				協議実施日(着手時)
	事前協議時			1 事前協議チェック欄(内容確認)
				2 発注倒参加者
				3 全項目
		○直接面談記載	○直接面錄記載	4 全項目
		2011-08-100-600-600		5 納品対象判断機(内容協議)
				6 編集発注者許可・項目(内容協議)
				9 全項目 内容協議(記載事項はなし)
				11 その他必要事項等(内容協議)
				協議実施日(納品時)
				5 納品時チェック
			1	6 納品時チェック
	納品時	○直接面談記載	○直接面談記載	7 納品時チェック
				8 納品時チェック
				10 全項目
			114	11 納品時チェック

#### 必須マークについて

工事ガイドラインと各基準 (案) 等で定めている事項には、下記印をチェックボックスに記載している。 ☆受発注者協議により納品物の決定を行うが、やむを得ない場合を除き必須事項を遵守する☆

二事ガイドライン(必須) 必須マーク凡例 ○: 工事ガイドライン (条件付き必須) ★:国要領・基準 (案) での原則

初端安米口	着手時	令和	年	月	B
Matt. 200 (2)	納品時	令和	年	月	B

- 案件基本データを受発注者確認													事前協	在漢テェック	
工事名		0.00					工事番号					-11	発注者	受注者	
	监初	令和	年	月	日 ~ 令和	年	月	В	契約日 令和	年	月	B			
工期	変更1	令和	年	月	日 ~ 令和	年	月	В	契約日 令和	年	月	B			
-2006	変更2	令和	年	月	日 ~ 令和	年	月	В	契約日 令和	年	月	В		П	

兒注側 参加者	地域機関名	-9	1.9	
	役職名	(課長・課長代理・係長)	(総括監督員)	(主任監督員)
	参加者名			
受注例 参加者	会社名			
	役職名	(監理技術者)	(主任技術者)	(現場代理人)
	参加者名			

適用要領・基準類を受	適用要領・基準類を受発注者確認			事前協議 729	
対象書類	策定年月日	適用年月	備考	発注者	受注者
A 65	□電子協議・電子納品ガイドライン(案)【工事備】	令和4年4月			
全般	口新潟県電子納品実施要領	令和4年4月			
写真、参考図	ロデジタル写真管理情報基準(案)	平成20年5月		0	
関面	□CAD製図基準(案)	平成20年5月			
工事完成図書全般	口工事完成図書の電子納品要領(案)	平成20年5月			
地質調査成果品	口地質。主質調査成果電子納品要領(素)	平成20年12月		П	

	Fig. 24-28	201.04-250	ACCOMPANY OF THE PARTY OF THE P
	発注者	受注者	新潟県CALSシステムヘルプテ゚スク
システム利用申込指示	□CALS9xYA科用申込を指示		
システム利用申込書取得		□#*-\$##(\$#\$\\$\\$\\$\0\D-\;	
		口ASP科用規約を確認	
32元利用申込書記入		口請求會送付先記入	
		口事案情報記入	
		口案件情報記入	
		口発注地被機関名選択	
		<ul><li>口工事監理業務委託者記入 (額当する場合のみ)</li></ul>	
	A CAUCANA AND AND AND AND AND AND AND AND AND	口受注会社情報記入	
	口兒沒者情報提供	口発注者情報記入	
		口受法者情報記入	
システム利用申込書申込		ロバールでヘルプラースがヘー単語	中场受付
	□ヘルプタ゚スタからの情報雑誌	3	申込情報確認(発注者へ)-867日)
システム利用開始確認			システム登録
	□利用開始通知を確認(個人/-»)	口利用開始通知を確認(登録パール)	利用開始通知/-A送信
	□ID/PASSNIFDを確認(個人/-F)	口巾/PASS朝印を確認(登録1-4)	ID/PASS網和主発行(J-A送信)
		口利用料請求書の収受確認	利用料請求書鄉送

0、電子網品	対象書類(対象書	類名腦膜)		Contract of the Contract of th		明品	時7577
	項目	ソフト名・ファイル形式	電子	納品対象	紙で納品	杂社会	受注字
	·R III	2214 2711922		格納するフォルグ	864 Z 85100	Section 2	26,000
	工事打合せ簿	口新選集CALS>RYA作成	00	CHMEET★		0	_ 0
M	段階確認書	□新潟県CALSSAFA作成	Π0	□0THRS*		0	0
協議書面	材料確認書	□新港県CE-Syxtla作成	Π0	□0THRS*		0	
	履行状況報告書	□新潟県CALS>スナム作成	00	□QTHRS ★		_D_	_0
	土・休日・夜間作業語	口數週傳CALS)X1A作成	ПО	□0THRS ★	N	-	- 0
写真	·参考図	9)	項目にてチェック	7を行うこと。	2.7		
	ALTERNATION OF THE PARTY	□W0RD (Ver. )					
	施工体制台帳	CIEXOB. (Ver. )	Π0	□0THRS*			0
		CIPOF (Ver)		l.			
		□W(R) (Ver. )		*			
	施工計画書	DEXCEL (Ver. )	00	CIPLAN★		0	0
<b>工関係書類</b>	HYSPOX (TIVALERA)	□PDF (Ver. )	1,000	- 61			
		□W(Rb (Ver. )		Î			
	突施工程表	CIEXCEL (Ver. )	П0	DIVEET*			0
	7.4.394	CIPOF (Ver. )	, section .			100.11	4.74
		DW(R) (Ver. )			1		
	施工体系図	DEXCEL (Ver. )	00	□0THRS★			0
	25-77 m kg	DPDF (Ver. )					
	測定結果総括表	□WORD (Ver. )		DWEETO			
		DEXCEL (Ver. )	ПО				ū
		□PtF (Ver. )	10000	(2)(2)(5)			100
		□WORD (Ver. )					
	測定結果一覧表		00	CINCETO		О	0
		DPDF (Ver. )		1000000		-	-
	品質管理図 (工程能力図)	□WORD (Ver. )	00				
品質管理		DEXCEL (Ver. )		DWEETO		0	n
加其相性		DPDF (Ver. )					, i
	品質管理図表 (ヒストヴラム等)	DWORD (Ver. )	Do	-	-		
		CEXCEL (Ver. )		DIETO		n	0
		CPOF (Ver. )	. He			**	H
	10-3/71/0-10	DWORD (Ver. )		-			
	施工管理記錄			CHARELLO			0
	(生コンクリー ト打散管理表)	DEXCEL (Ver. )	00			0	-
		LIPDF (Ver. 7)		4			
	材料納入伝票			-	前品不要、提示検査	0	0
	ミルシート		00	DIVERTO	00	D	
品質証明	カタログ			1	納品不要。提示検査		0
	品質証明書		00	CHEETO	ПÖ	0	0
	見本				納品不要、提示検査		-0
	試験結果 (報告) 書		00	DIVEETO	ПО		- 0
	-100 0000 2 000 00000000000	□W(Rt) (Ver. )	1274111	40000000	1		-
	測定結果総括表	AND DESCRIPTION OF THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NOT THE PERSON NAMED IN COLUMN TWO IS NAMED IN COLUM	ПО	DIMEETO			0
		□P(F (Ver. )					
	(S04)(107)(F 40)(94)	□WoRth (Ver. )	2 2005	8506000		-31	25
	測定結果一覧表	CIEXCEL (Ver. )	ПО	DIVEETO			
出来形管理		□PtF (Ver. )		2			
HISTORY BY	all size the delegation of a	□W(R) (Ver. )		1			
	出来形管理図 (工程能力図)	DEXCEL (Ver. )	00	CHMEETO		0	0
	1 12 GU /J RAL/	CIPDF (Ver. )					
	ata ata ma dia amangana	□WQPD (Ver. )					
	出来形管理図表	CIEXCEL (Ver. )	D0	DIVECTO			0
		CIPOF (Ver. )	· Contract	111.211.24.00			

9	2成図	<b>9</b> 1	項目にてチェック	を行うこと。			
	農事物マニュフェスト			0	納品不要、提示検査	=0	0
	再生資源利用	CIEXCEL (Ver. )		mating to			_
建設副産物	(促進) 計画書	口PDF (Ver. ) O()BRISで作成	00	□0THRS★		.0	0
	再生資源利用	CIEXCEL (Ver. )	yagan	2222		-	2
	(促進) 実施書	口PDF (Ver. ) OgBRISで作成	00	□0THRS★		D	0
		ポーリング交換用データ DXML	Π0	□B(RING ★ (42° 7484° : BATA)	1	0	0
	ボーリング	電子柱状図	00	C)BgR1NG★		0	0
	柱状図	□PDF (Ver. ) 體子發驗非狀図	Visit	(†7' 7184' ' L0G) □B0RING★			- 1
		電子配給性状態 □CAD(□SXF(SFC)□その他( ))	Do	(\$7"74A4" : DRA)			0
	地形平面図	口CAD (口SDF(SFC)口その他( ))	00	DDRAWING ★		Ð	О
	地形断面図	ロCAD (ロSXF(SFC)ロその他( ))	D0	□DRAWING ★		0	0
		写真管理ファイル CIXML	00	CIBIRINE★ (1777#41 PIC)			
地質調査データ	コア写真	写真ファイル		F12509201097		n	0
		□JPE8 有効高素数		(\$7"7484" : PIC)			470
		口200万面章以上		) Antonomosperam			
		電子データシート CPDF (Var. )	П0	CIBORING★ (#2° 2444° : TEST)			П
	土質試験および 地盤調査	データシート交換用データ □XML	00	CIBORING★ (†2°7¢#4° : TEST)			
		電子士賞試験結果一覧表 CONF	Π0	□BORING★ (\$7'74A\$' TEST)	4		
		口PDF 土質試験結果一覧表ゲータ	00	□B(RING ★		0	
		CXM		(92 74A5" : TEST)			
		デジタル放料供飲体写真 DJPEG		□B0RING ★			
		有効面素数		(47° 7484° 1 TEST)			
		□200万團業以上					
	現場写真	N N	項目にてチェック	を行うこと。	1		
	その他の地質 土質調査結果	口その他(	ПО	□B0RING★ (+7*74+4* : ()THRS)		0	Ω
	ICT活用工事資料	CIPOF (Ver. )	D0	DOTHRSO		_0_	_0
	CALS利用料支払い賃料	CIPDF (Ver. )	ПО	DOTHRSO	П0	п	0
	県内調達報告書	CIPDF (Ver. )	00	DOTHRS)	00	0	0
	退休2日実施アンケート	CIPDF (Ver. )	00	DOTHRSO	00	-0	-0
その他書類	快速トイレ教養報告書		ПО	DOTHRSO.	00		- 0
	建选并能致统人议义副务等	CIPOF (Var. )	00	□0THRS()	00	0	
	再資源化完了報告書	DPbF (Ver. )	00	□0THRS○	ПО	п	0
		□PDF (Ver. )	-				
	その他	D-tの他( )		D@THRS			

98.4	参考図に関する事項	(山東線羅)				<del>跨</del> 于178
30 3	B-2001~  利3-0-4-4	(内容數据/			免注者	受注制
	納品方法	□電子データのみ◎★		16	6	D
	格納フォルダ	EIPHOTO (PIC: +7"7##1") 💿 🖈				
	記錄形式	CSJPEGO *			.0	0
	圧縮率	ロファイン()	ロスタンダード	口その他( )	0	0
写真	有効画素数	□100万面業務度②★	口()方面業			0
-	編集発注者許可	口有		□#0*		
	編集許可項目	CRM	ロバノラマ変換	口明るさ補正		
	磁条計引模目	口朱入 (引き出し) 適加	ロトリミング	口つなぎ		
	原本(ネガ)	口別の一般(1000-14)にて納品(10				- 0
	着工前·竣工写真	□工事写真後に掲載して納品◎				
	納品方法	□電子データのみ◎★	10:	0)	0	
参考図	格納フォルダ	CIPROTO (DRA : 45"7444") 🐠 🖈				
	記錄形式	CSUPER	DTIFF(84)	□P0F	.0	0

完成図に	関する事項(内容	7倍順)		納品 発注者	時于177 學性:
	発注時刻面	口5次形式開東 有	DSXF形式因而 無	0	0
	納品方法	□電子データのみ◎★		D	0
	格納フォルダ	□DRAWINGF • ★		0	. 0
		口SXF (SFC形式) SXF4^**( )n*-9*12( ) (作成774名:	, N°-Y1>		
完成図		口(明(作成77年): パーデュン:	)		
		口取 (作成の)名: パージョン:	)		-
	ファイル形式	口/難(作成/介名: (6-1/1):	)	D	0
		□JWC (作成77)名: , x²-y²sy:	)		
		□その他(作成97)名: 、 パ-シ゚ュン:	j		
その他	由協議事項			0	0

8. 納品に関	する事項<納品牌	<b>- 確認事項&gt;</b>		2	納品	時チェック
項目		確認内容 備考		備考	発注者	受注章
		新潟県OALSシステ	ムへ電子納品情報を登録したか	必須 (工事ガイドライン記載)		п
納品	情報登錄	事前協議結果から か	定めた電子納品データは全て登録した	必須(工事ガイドライン記載)	0	О
		納品する管理ファ	イルの記載内容は適正か	必須(工事ガイドライン記載)		D
電子媒体の種別		COOp-R	□¢Wb-R	ゲータ容量により適宜選択する	0	0
	作成	新潟県CALSシステ ロードを行ったか	ムから電子納品データを一括ダウン	必須(工事ガイドライン記載)		0
			圧縮データを解准(腰関)のうえ(D)- むことで納品(D)-R(D)(D-R)を作成したか	必須(工事ガイドライン記載)		п
		ウィルスチェック	を行ったか	必須(エ事ガイドライン記載)		0
納品CD-R等		最新のウィルス定 ウィルス対策ソフ	義(パターン)ファイルを適用した トを使用したか	必須(工事ガイドライン記載)		D
ecimical wat	ウィルスチェック	ウィルス対策ソフ	ト名表(D-R(D)(D-R)表面に配載したか	必須(エ事ガイドライン記載)		0
		ウィルス定義年月 薬に記載したか	日末たはパターンファイル名を印代表	必須(工事ガイドライン記載)		۵
		ウィルスチェック	年月日をCE-ROWE-R)表面に記載したか	必須(工事ガイドライン記載)		п
	提出		を発注者へ必要收款提出したか (Q)-R(BW)-R)を別途監督員へ提出したか	必須(工事ガイドライン記載)		0

B. 納品に関する事項<納品時確認事項>※発注者確認			前品跨7277	
項目	確認内容	備考	発注者 受注者	
	電子媒体の外観を確認	CD-R (DVD-R) に被損等がないかを確認	0	
納品內容確認	ウィルスチェックを行う	パソコンに導入されているウィルスパスターを用い て、CD-ROVD-6)をウィルスチェックする	0	
(発注者確認)	提出された(0)-R(0/40-R)を開くことができるか	単純に中身が確認できるかを確認		
※受注者は確認する必要無	フォルダ構成は定められたとおり作成されているか また。ファイル会名規則に従って作成されているか	各要領・基準(案)に沿っているかを確認	.0	
	新潟県CALSシステムで作成された書面等(打合せ簿等) が納品データに登録されているか	METフォルダ内の工事打合せ簿に押印のイメージが表示されているかを確認		

	方法	口電子媒体を利用	口組、電子媒体を併用	O#L
		対象書類	受注者用意	
		口施工関係書類(口全部・ロー酸)		
		口協議書第(口会部・口一部)		
		口安全関係書類(口全館+口一部)	п	
	検査対象書類(電子データ)	口品質管理書類(口全部+口一部)		1
	1125111 250	口出来形管理書類(口全部・口一部)	П	
		□完成図 (□全部・□一部)	0	
		口写真 (口全部・口一部)	0	
検査方法		<b>口その他(</b> )		
		対象書類	要注者用意	
		口施工関係書類(口全部・ロー部)		
		口協議書芸(口全部・口一部)		
	named to the same of the same	口安全関係書類(口全館・ロー部)	О	
	検査対象書類 (紙データ)	口品質管理書類(口全郎・ロー部)		
	7. Mary 100-101 (100-100)	□由未形管理書類(□全部・□一部)		
		口完成図 (口全部・口一部)		
		口写真 (口全部・口一部)		
		口その他( )		3
1	準備者	口発注者	口受注者	AT .
機器の準備	使用機器	עבעאם	ロモニター (プロジェクター)	口その他(
and a said	書類検査場所	口各地域振興局(事務所)庁舎内	口視場事務所等	口その他(
その他	必要事項			

<ol> <li>新潟県CALSシステム利</li> </ol>	用元了手続き			1
	発注者	受注者	新潟県CALSシステムヘルプテ゚スク	1
システム利用完了手続き指示	DCALS/AFA科用完了手続きを指揮			1
クステム利用売了手続き		システム完了作業	システム完了支援	
最終確認(発注者)	口当該工事の納品情報が保管管理シ	ステムにデータ移動したことを研	TR.	

1. その他必要事項等 (メモ機)	納品時		
1.4 1.6 1.10 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	免注者	受注者	
	D	0	
	ם	0	
	o	D	

## No. 1003:指定部分履行届

## 指定部分履行届

年 月 日

上越市ガス水道事業管理者様

受注者

住所

氏名

( FI

下記のとおり指定部分に係る工事を履行しました。

事業	名	I	事番号			
工事名		工事	契約金額			
工事場所		地内	工事日数			日
着手日	年 月	日	履行期限	年	月	日
指定部分の 着 手 日			指定部分の 履 行 日			
指定部分に係る 契約金額						

No. 1004: 支給品要求書(兼受領書)

令和 年 月 日

#### 支給品要求書兼受領書

上越市ガス水道事業管理者様

(受注者) 住 所 氏 名

下記のとおり支給品の支給を求めます。

工事名					
引渡時期					
分類及び細分類	品名	規 格	単位	数量	備考

令和〇〇年〇〇月〇〇日契約の〇〇〇〇工事において建設工事請負基準約款第16条に基づく支給品を上記のとおり受領しました。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

上越市ガス水道事業管理者様

(受注者) 住 所 氏 名 (現場代理人氏名) No. 1005: 支給品精算書

令和 年 月 日

## 支給品精算書

上越市ガス水道事業管理者様

(受注者) 住所 氏名 (現場代理人氏名)

下記のとおり支給品を精算します。

記

				<u> </u>					
工事名						契約年月日			
		+8 +2	<b>334</b> /-L	<del>}</del>	数	量		/#	<del></del>
品		規格	単位	支給	数量	使用数量	残数量	備	考
<b>*</b>	_	上記精算について調査したところ事実に相違ないことを証明する。							
監督員証明欄					月 E 督員:		ED		

No. 1007: 現場発生品調書

年 月 日

上越市ガス水道事業管理者 様

受注者 住所 氏名

#### 現場発生品調書

令和 年 月 日付けをもって請負契約を締結した 工事 における下記の発生品を引き渡します。

記

品	名	規	格	単位	数	量	摘	要

No. 1008: 部分使用同意書

第 40 号様式

部分使用同意書

车 月 日

上越市ガス水道事業管理者様

受注者 住 所 氏 名

月 日申出のあった下記工事にかかる工事目的物の引渡前の使用については同意します。

記

工	事	番	号	工	事	名	I	事	場	所		
使用	笛	所							使用年月日	年	月	日
使用	条	件										
									5 W. # 6 7 # 3 /P			

(注)建設工事請負基準約款第34条第1項に基づき、工事目的物の全部又は一部を使用するため、受注者の承諾を得る場合に使用する。

No. 1009: 工期延長請求書

工 期 延 長 請 求 書

年 月 日

上越市ガス水道事業管理者様

 受注者
 住 所

 氏 名
 印

下記のとおり約定工期を延長して下さい。

工事番号	工事名		工事	場	所
工事日数	工期	延長			
П	年 月 日	延 長請 求	変更完了期限	年	月日
日	年 月 日	日数			
延長理由					

注・用紙の規格はA列4号横長とする。

#### No. 1102: 中止期間中の維持、管理に関する基本計画書

令和 年 月 日

上越市ガス水道事業管理者 様

受注者 氏名 印

## 工事一時中止に伴う工事現場の維持、管理等 に関する基本計画書について(提出)

令和年月日付け 第 号で工事一時中止のあった下記の工事について、別紙のとおり基本計画を提出いたします。

記

- 1. 工事名:
- 2. 現契約工期 : 令和 年 月 日~令和 年 月 日

別紙

#### 基本計画書

- 1. 中止時点における内容。
- (1) 中止する工種の出来高
- (2)職員の体制
- (3) 労務者数
- (4)搬入材料
- (5)建設機械器具等
- 2. 中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること。
- 3. 中止期間中の工事現場の維持、管理に関すること。
- 4. 中止した工事現場の管理責任に関すること。

No. 1103: 工期変更協議書

#### 様式-2

#### 工期変更協議書

令和 年 月 日付けで請負契約を締結した下記工事について、建設工事請負基準 ※約款第 条第 項に基づき工期の変更について協議した結果のとおり確認する。

記

エ	事	番	号	工	事	名	エ	事		場	所
エ	事	日	数	工事日数	日	間を	日間に	こ変更する。			
竣	工	期	限	竣工期限る。	令和	年	月	日を令和	月	日迄と	変更す
工協	期変議内	更容									

令和 年 月 日

上越市ガス水道事業管理者

※約款第16条第7項、約款第18条第1項、約款第19条第6項、約款第20条、約款第21条第4項、約款第22条、約款第23条第1項及び約款第40条第2項のいずれかを に適用する。

No. 1104: 材料確認書

様式-5

#### 材料確認書(立会・机上)

令和 年 月 日

標準仕様書その1第1編1-1-22に基づく検査(確認を含む)を願います。

受注者 ㈱ 〇 〇 組

工事名 工事

現場代理人	印

① 材料名	② 品 質、規 格	③ 単位	④ 搬入	⑤ 確	認欄	⑥ 備 考
			数量	確認年月日	確認方法	(判 定)
(例) 圧延鋼材	SM50A	t	15	H9 年 9 月 10 日	ミルシート及 び材料試験	合格
コンクリー ト ブロック	1,000×1,000× 500 控	m²	100	H9年9月15 日	目視による検 査 コンクリート の強度の確認	欠損ブロック1個を 不合格と した

上記について材料を検査し確認した。

令和	年	月	日

監督員名

- ※1 この確認は監督技術基準別表-1に定めた材料である。
  - 2 ①、②、③、④は受注者が記入、⑤、⑥は監督員が記入する。

## No. 1105:段階確認書(兼段階確認願)

様式-6

#### 段 階 確 認 書(立会・机上)

令和 年 月 日

標準仕様書その1第1編1-1-23に基づく検査(確認を含む)を願います。

受注者		

工事名 工事

現場代理人	印
-------	---

区分	① 工 種	2 細 別	③ 確認時期	確認項目	⑤ 記事(確認日・その他指示事項 等)
設計図書に	(例-1) 矢板工	鋼矢板Ⅱ型	打ち込み時	$ \begin{array}{c} L = \bigcirc \bigcirc m \\ T = \bigcirc \bigcirc mm \end{array} $	<ul><li>○月○日 (指示事項)</li><li>矢板は5枚ごとに番号を付し、</li><li>写真をとること</li></ul>
定定めた工種	(例-2) 深礎工	φ 2, 000 mm	掘削完了時	支持地盤 深さ(長さ) 径 偏心量	○月○日 (指示事項) 本日の計測に基づき偏心量(X 軸、Y軸)を示す図を作成すること
監督員が指示した工種					

上記について段階確認を実施し確認した。

令和	年	月	日	
監督員	名			Ø

※①②③は、受注者が記入 ④⑤は、監督員が記入 No. 1107:事故速報

事 故 速 報 (第 〇 報) 公 衆 (死亡・負傷・その他)

現場関係者(死亡・負傷・その他)

										年		月	目
発		信	Ì	者									
				エ		事		名		等			
1	発	Ž	È	者									
2	工事	番号	・名称	尓									
3	施		Ľ	地									
4	契	約	金	額									
5	エ			期	年	J	月	日~	_	年	月	ŀ	1
				業			者			名	ı		
f 同	主業者主所号表札		号					住所 商号 代表	÷			次下記	青)
				事		故		概		要	Î		
1	発	生	日	時	白	Ē	月	日	午前後	時		分頃	
2	事	故	内	容									
3	被	5)	Ķ	者	氏名 *住所、生	上年月	日は不月	性別目です。	Ē	<b></b> 手齢			
4	そ	0	D	他									

(備考) 委託業務の場合、「工事名等」欄を適宜読み替えること。

No. 1108: 事故発生報告書

年 月 日

( 発 注 者 名 ) 様 ※上越市ガス水道事業管理者 様等

> 住 所 受注業者名 代表者氏名

事 故 発 生 報 告 書

- 1 事故発生工事等
- (1) 発注者名
- (2) 工事等名
- (3) 工事等場所
- (4) 契約金額
- (5) 工 期
- (6) 事故を起こした業者

住 所 商 号 代表者氏名

- 2 事故概要
- (1) 発生日時
- (2) 事故内容
- (3) 事故原因
- (4) 被災者

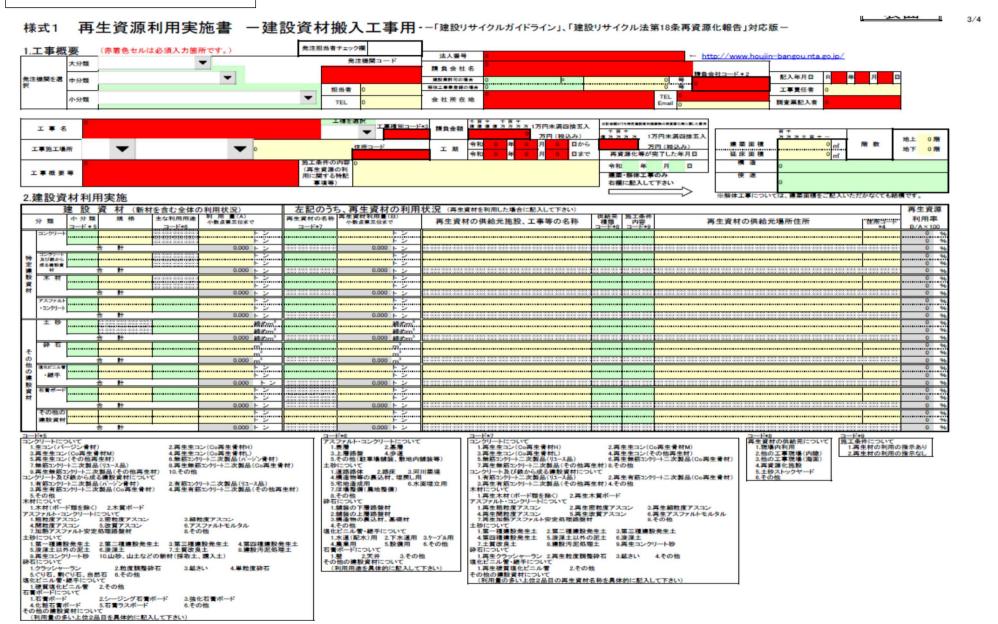
氏 名 性別 ( 歳) 死亡・負傷の別 負傷の場合はその内容

#### ※添付書類

- 1 所轄労働基準監督署へ提出した労働者死傷病報告書の写し
- 2 診断書の写し(死亡事故の場合は、死亡診断書・死体検案書の写し)
- 3 事故現場の図面、写真等
- 4 事故防止に関する誓約書
- 5 事故防止対策書
- 6 施工体系図
- 7 その他参考となる資料

(公衆事故の場合、添付書類 1 は不要。物損事故の場合は添付書類 2 は不要であるが、被害状況が分かるものを添付のこと)

#### No. 2101: 再生資源利用実施書



## No. 2102: 再生資源利用促進実施書

## 様式2 再生資源利用促進実施書 一建設副産物搬出工事用一

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と 新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

#### 2.建設副産物搬出実施

主股副废物	①発生1	1	現り	傷内利用・湯	英重			ŦĐ	場外	# 出	について							再生資源
の種類			現場内	利用	減	量化	搬出先名称	-91	700 Jr	MX III	搬出先場所住所	,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	類当先	④现場外撤出量	,		促進
場外搬出時 の性状	(掘削等) =2+3+4 +84第三年		②利用量	うち現場内 改良分 小数点第三条ます	法计	③減量化量	2ヶ所まで配入できます。3ヶ月 わたる時は、用紙を換えて下		区分	施工条件の 内容 2-1**12	posta yo-gorn EETH	住所コード +4	運搬距離 チョナー	の機構 3→1 +13	小数点第三位まで	うち現場内 改良分 小教会第三位まで	⑤再生資 利用促進	
コンクリート#	0.000		F2	トン			搬出先1 搬出先2						km		ردا ردا	ردا ردا	0.000	
建設発生本村/	0.000				00X 00XX 0 00X 00XX 0 00X 00XX 0	EX 0000 0000 000 EX 0000 0000 000 EX 0000 0000 000	搬出先1						km		トン	****	0.000	
アスファルト		1	トン	トン	******		搬出先2 搬出先1						km km		152 152	トン	-	
コンクリート機	0.000	<u>ک</u>	トン	トン	******		搬出先2 搬出先1						km		トン トン	<b>ر</b> ا	0.000	·
その他がれきま	0.000	<u>بالله د</u>	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0000 0000 0000 0 0000 0000 0000 0			搬出先2						km	•	トン		0.000	·
建設発生木材( (文水・単単的などが) 単独かなったもの(	0.000	2	1-2	トン			搬出先1 搬出先2						km km		(4)		0.000	
建設污泥	0.000		14	l->		E.	搬出先1 搬出先2						km		トン	トン	0.000	
金属くず	0.000				*****		搬出先1						km		トン		0.000	
奥塩化ビニ	0.000	<u> </u>			*******		搬出先2 搬出先1						km km		157 157		0.000	<u> </u>
ル管・継手	,	٠			*******		搬出先2 搬出先1						km km		トン		-	<u> </u>
(機理化ビニル 食・競手を除く)	0.000	٠					搬出先2	••••••					km	•	トン		0.000	>
奏石膏ボー	0000	J		**************************************	000 0000 0 000 0000 0 000 0000 0		搬出先1 搬出先2						km km		トン ペ		0.000	
紙くず	0.000			***************************************			搬出先1 搬出先2						km		<u>6</u>		0.000	,
73^'3} (微動性)	0.000						搬出先1						km		トン		0.000	
その他の分別	0.000	7		****			搬出先2 搬出先1						km km		トン トン		0.000	
された農業物 連合世際の農業的		<u>کا انتان</u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	***********			搬出先2 搬出先1						km		トン		-	2
(建於理会與意味	0.000	٠		**********	******		搬出先2						km	•	<b>را</b>	****	0.000	·
第一種建設発生土	0.000 地山	na	地山m <sup>3</sup>	地山m³			搬出先1 搬出先2						km km		地山m <sup>2</sup> 地山m <sup>2</sup>	他山m <sup>3</sup> 地山m <sup>3</sup>	0000 地山n	3
第二種建設発生土		, a	#tilm <sup>2</sup>	地山m³			搬出先1 搬出先2						km		無山m <sup>2</sup> 地山m <sup>2</sup>	無山m <sup>3</sup> 無山m <sup>3</sup>	0.000 無此n	3
第三種	0.000						搬出先1						km		地山m <sup>a</sup>	微山m³	0.000	
建設発生土 第四種	PID-144	n	地山m²	地山m*	******		搬出先2 搬出先1						km km		地山m² 地山m²	他山m <sup>2</sup> 地山m <sup>2</sup>	地山山	n"
建設発生土	地山	n <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m³		EX	搬出先2 搬出先1						km		地山m <sup>2</sup> 地山m <sup>2</sup>	推山m <sup>3</sup> 推山m <sup>3</sup>	地山山	n <sup>3</sup>
<b>東京土</b> 以外の第1	± 0.000 地山	n <sup>3</sup>	地山m³	地山m³	44 444 4 44 444 4 44 444 4		搬出先2						km	•	地山m <sup>2</sup>	地山m <sup>2</sup>	0.000 地山n	n <sup>3</sup>
渡漢土 (建設汚泥を除く	0.000 地山	n <sup>a</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m³			搬出先1 搬出先2						km km	•	規山m <sup>2</sup> 地山m <sup>2</sup>	地山m <sup>2</sup>	0000 地山n	n <sup>3</sup>
合 計	0.000 Http://		0.000 #kulim²	0.000 無山m³								300C-00000C-00000C-000C-	000000 0000000 0000000 0000000 0	00000 -000000 -000	0.000 #k山m²	0.000 Httlm <sup>2</sup>	0.000 Ht.Llin	2
コード+1( 1.路盤	0		コード+11 1.焼却	2脱水		ード+12 E工条件につい		⊒-F*1		1			【建設発生士の					
3.埋戻 4.その 一般楽章物	し村	で下さい。	3.天日軟 4.その他			1.A指定処分 (発注時に 2.B指定処分 (発注時に	構定されたもの) (もしくは準相定処分) は指定されていないが、 設計変更し指定処分とされたもの	1.売 2.他の 3.広与 4.中間 5.中間	D D工事環場 成認定制度に 関処理施設(7)	アスファルト 合材ブランI サーマルリ	8.廃棄物最終処分場(3 9.廃棄物最終処分場(F 合材プラント) -以外の再資源化施設) サイクル)	等面処分場) 内陸処分場)	1.売却 2.他の工事 3.他の工事 ただし、8 4.土質改良 5.工事予定	見場(内閣 見場(海部 と葉物最が プラント 地・仮置等	(1) (7.採 6処分場を除く 8.廃 9.廃	事予定地・仮置地 専利用の目的が 石場・砂利採取設 実物最終処分場 実物最終処分場 : 拾場・残土処分	ない場合) 跡地等復旧 (覆土として (覆土以外	事業 (の受入)

No. 2103: 再資源化等完了報告書

第1号様式

#### 再資源化等完了報告書

令和	年	月	H

(発注者)

様

受注者 住 所

氏 名 印

特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したので、建設工事に係る資材の再資源化等に 関する法律第18条第1項の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 工事名
- 2 工事場所
- 3 再資源化等が完了した年月日 令和 年 月 日

4 再資源化等をした施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物 の種類	施設の名称	所在地

5 再資源化等に要した費用(直接工事費)
----------------------

注 再資源化等に要した費用には、運搬費を含むこと。

No. 2104: 品質証明書

## 品質証明書

記載例:臨時検査時				工事。	名:〇 〇	
		品 質 証	明記	事		
品質証明項目	実 施 日	笛	所	品質証明員 氏名 🗗	記	事
施工計画書	令和○年○月○日	施工計画書(当初)				
施工実態	令和○年○月○日	臨時検査対象工種				
臨時検査	令和○年○月○日	臨時検査対象工種				
	令和 年 月 日					
	令和 年 月 日					

社内検査基準又は別紙品質証明表により確認した結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他の関係図書に示された品質を確保している ことを確認

したので報告します。

受注者住所 〇〇市〇〇町〇一〇一〇 氏名 〇 〇 〇 日

【A列4版横】

品	質	証	明	書
$\Box\Box$	复	<u> </u>	ᄞ	書

記載例:完成検査時		四 貝 証 5		工事	名:〇 〇	〇 〇 工事
		品質証明	記事			
品質証明項目	実 施 日	箇 所	品質証明員 氏名		記	事
施工計画書 (新規工種及び大幅な施工方法等 の変更があった場合)	令和○年○月○日	施工計画書 (変更)	0 0 0			
施工実態	令和○年○月○日	工事全般	0 0 0			
完成検査	令和○年○月○日	工事全般	0 0 0			
	令和 年 月 日					
	令和 年 月 日					

社内検査基準又は別紙品質証明表により確認した結果、工事請負契約書、図面、仕様書、その他の関係図書に示された品質を確保している ことを確認

したので報告します。

受注者住所 〇〇市〇〇町〇一〇一〇 氏名 〇 〇 〇 日

【A列4版横】

## No. 2105: 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況

#### 別紙 6-1

## 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況 (一覧)

工事名			受注者名	
項目	評 価 内 容		提到	案内容
□工事特性	1 構造物の特性への対応			
	2 都市部等の作業 環境等、社会条件 等への対応			
	3 厳しい自然・地 盤条件への対応			
	4 長期工事におけ る安全確保への 対応			
□創意工夫	□施工			
	□新技術活用			
	□品質			
	□安全衛生			
	□その他			
□社会性等	□地域への貢献等	道路清掃 地域住民	への配慮 の地域への調和 などの実施 とのコミュニケー どにおいて救援活	

- 1 該当する項目の□にレマーク記入。
- 2 具体的内容の説明として、写真・ポンチ絵等を説明資料に整理。
- 3 実施した内容を一覧にまとめて記載する。

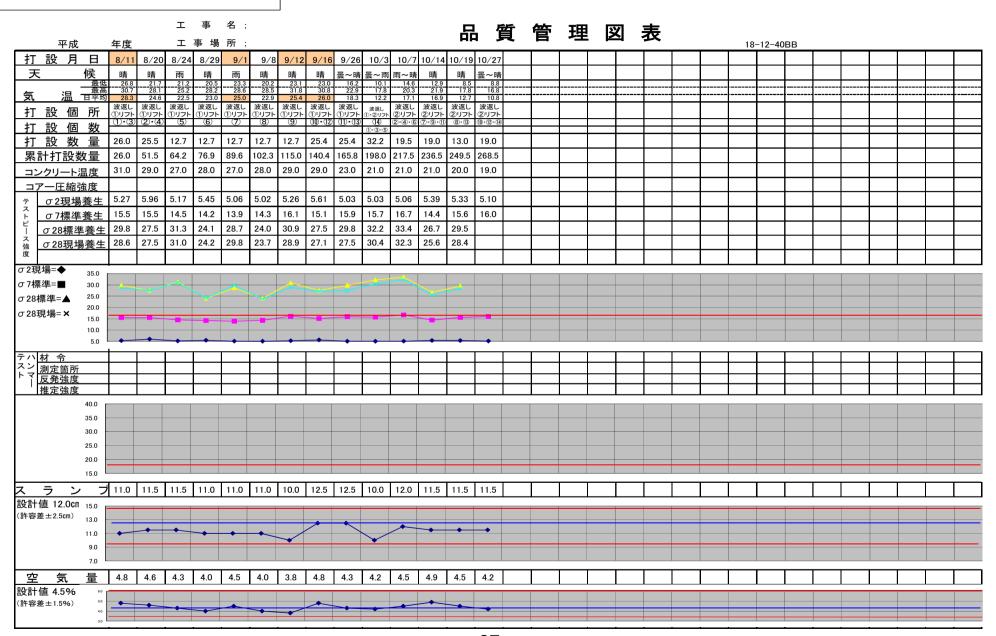
#### 別紙 6-2

## 工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況 (説明資料)

工事名		
項目	評価内容	
提案内容		
(説 明)		
(添付図)		

説明資料は簡潔に作成するものとし、必要に応じて別様とする。

No. 2106: コンクリート品質管理図表



## No. 2112: Made in 新潟活用評価シート

活田証価シート

即經7 (完建業老用)

	_	<u>価シート</u>		別紙 7 (元請業者用)
	技徘		元請負者名	
従来		術名	記入者名	電話番号
		新技術のコスト(施工費、維持管理費等)と従来技術の概算コストを単位当たりで比較する。	)	評価コメント
	経	世界技術 新技術 新技術 The State of the	コスト差	
	7.7	コスト (     当り)     円	0 円	
,	性	評価点 = 基準点 × (1 + コスト差 / 従来技術のコスト差50%)		
L		= 5 $ imes$ ( 1 + 0 / 0 ) $=$	#DIV/0! (点)	
		新技術の実施施工日数と従来技術の概算の施工日数を施工単位当たりで比較する。		評価コメント
	_		短縮日数	
	工	施工日数 ( 当り) 日 日	0.00 目	
	11	評価点 = 基準点 × (1 + 短縮日数 / 従来技術の施工日数50%)		
L		= 5 $ imes$ ( 1 + 0.00 $/$ 0.00 ) $=$	#DIV/0! (点)	
			評価	評価コメント
	밆		0 -0.5 -1.0	
	質		0 -0.5 -1.0	
	出	・耐久性は向上するか(ライフサイクルコストが向上) +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
	来	・品質・出来形管理は減少するか(管理項目や管理頻度の減少) +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
	形	・出来ばえが向上するか(仕上げが細かい、通りが良いなどで美観が向上。) +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
調		評価点 = 基準点× (1+合計点 / 調査内容数) = 5× (1+ / 5) =	5.0 (点)	
*			0 -0.5 -1.0	
查	<u>.</u>		0 -0.5 -1.0	
	安 全	・飛来・落下物災害の危険性が減少するか +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
	生性	・作業環境が向上するか (暗がり、騒音、狭所作業の減少) +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
目	_	・危険物等の取り扱いが減少するか +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
		評価点 = 基準点× (1+合計点 / 調査内容数) = 5× (1+ // 5) =	5.0 (点)	
		・現場での施工が減少するか       +1.0   +0.5	0 -0.5 -1.0	
	+⁄-	・仮設工が減少するか+1.0+0.5	0 -0.5 -1.0	
	施 工	・作業員の負担が減少するか+1.0+0.5	0 -0.5 -1.0	
	性	・熟練度に依存した作業が減少するか       +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
	_	・施工の機械化の程度は向上するか +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
		評価点 = 基準点× (1+合計点 / 調査内容数) = 5× (1+ // 5) =	5.0 (点)	
		・周辺の大気汚染・土壌汚染・水質汚染が減少するか +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
		・騒音・振動・粉塵・交通規制等が減少するか +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
	環	・産業廃棄物の発生量は減少するか +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
	境	・周辺の自然・生態環境・景観との調和は向上するか +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
		・省エネルギー・省資源化が向上するか       +1.0 +0.5	0 -0.5 -1.0	
		評価点 = 基準点× (1+合計点 / 調査内容数) = 5× (1+ / 5) =	5.0 (点)	
	そ	上記以外で特に評価すべき内容があれば簡潔に記入する この新技術を活用する上で	の留意点	今後に期待する点、改善点
	の			
	他			
v=1 1	-			

<sup>|</sup> に入力する。 ②評価は該当するものに○印をつける。従来技術に比べ優れている(+1.0)、やや優れている(+0.5)、同等程度である(0)、やや劣っている(-0.5)、劣っている(-1.0)

No. 3001:500 万円以下の総活報告表

#### 当初設計額 500 万円以下の工事の総括報告表

	リンユーチリンかのコロエ	<b>WIN</b>					
1. 工事概要							
工事番号・工事名	第号・			工事			
工事場所	上越市	地内					
工事内容	【ガス】						
	【水道】						
<del></del>	<b>5</b> \ 510 5			<b>万</b> \ 人 t	5 <b>/</b> 5		
工期	自)令和年	三月_		· 至)令和 <del>· · · · · · · · · · · · · · · · · · · </del>	口年	_月日	
請負金額	¥,	,	一(籽	(込)			
請負者	<u></u>						
2. 計画工程表(別別	※						
3. 現場組織表	Tr	-1					
現場代理人	TE						
副現場代理人	TE						
主任技術者			1=+47	- 1 、フ +燃 +ポ ナ	<u></u>	/ Dil &ff -1 \	
	無 )※設計書						
5. 主要船舶・機械(   載する。(別紙1)	有"無 )次記	又計書でか	日上され	こいる (機械)	以外の土安。	なものを記	
戦りる。(別紙1)    6. 主要資材(材料核		<b>送</b>	<u>.</u>				
7. 施工方法	『且时に従山/ △	冰八江忠	•				
火気に関する計画	火気の使用場	156	治小記点	#の概要		 ]時期	
(有・無)	人xiの使用场	ולתנד	/月八 改 1)	用切似女		· 月 日	
8 施工管理計画					л	п	
段階確認の予定	E		)		確認子	 定時期	
大い日本田町のつり、人	+>	くり日 4年 四心 く	71712		月	日頃	
					月月		
						<u> </u>	
9. 安全管理							
<ul><li>月4時間以上の多</li></ul>	 7全数音の内容						
月	(1)(1)(1)						
月							
	該当作業		 所属组	 会社名	資格	 }者名	
( 有・無 )					7311		
	_					_	
10. 緊急時の体制及	とび対応 (別紙1	)					
11. 交通管理(別添)※様式任意							
12. 環境対策(有・無)※特定建設作業を伴う場合に届出書の写しを添付							
13. 現場作業環境の整備( 有・無 ) ※現場事務所、休憩所等を設置する場合に添付							
※様式任意							
14. 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法 ※建設リサイクル法関連様							
式の写しを添付							
15. その他							
施工体制台帳の写し・施工体系図の写し							

#### (別紙1)

### 4. 指定機械 (有・無)

機 械 名	メーカー 名	型式名	排出ガ ス対応 型 指定番 号	低振動 型 指定番 号	低騒音 型 指定番 号	台数	使用 工種	備考

## 5. 主要船舶・機械(有・無)

機械名	規格	台数	使用工種	備考

#### 10. 緊急時の体制及び対応

現場事務所(現場代理人)	本社・支社等
TEL	TEL
<b>警察署 警察署</b>	監督員
TEL	TEL
消防署	上越市ガス水道局課
TEL	TEL
労働基準監督署	電力会社 東北電力㈱上越営業所
TEL	TEL
救急病院	NTT 東日本新潟
TEL	TEL
家族	市役所(道路・下水等) 上越市役所
	TEL 025-526-5111
その他	鉄道
	TEL

#### 設計図書の照査結果

項目	具 体 的 内 容 (事実が無い場合は無しと記入)
設計書、図面等に不一致がある	
設計書、図面等に間違いがある	
設計書、図面等に不明確な箇所がある	
設計書、図面等で示された自然条件や 施工条件と現場が合っていない	
設計書、図面等で示されていない施工 条件がある	

#### 架空線等上空施設、地下埋設物件等の調査結果

場所・位置	種類・管理者	高さ・深さ等